

山に登ることが 私の休息



Profile いたう・のりゆき

昭和26年2月13日生まれ。旧・七城町役場のOB。平成10年に「七城山楽会」を創設し、平成17年の合併により、「菊池山楽会」と名称を変更。退職後は、農業機械の買い取りと販売を行う。58歳のとき、キリマンジャロに登頂。登山ガイドの資格も取得。「七城走ろう会」メンバー。七城町梶迫区在住。69歳。

旭志の鞍岳山頂。背中のリュックは10年間愛用している。今ではすっかり相棒だ

「改めて聞かれると難しいねえ」。山登りの魅力を尋ねると、照れくさそうな表情ではにかむ。

若い頃から登山をはじめ、サイクリングやトライアスロンなどに親しんできた。「一度は登ってみたい」と、タンザニアのキリマンジャロへ。標高5895mのアフリカ大陸最高峰に5人の仲間と挑み、登頂を果たす。

「山登りの楽しさをみんなにも味わってもらいたい」。38歳のとき、登山グループをつくろうと七城町の広報紙に掲載したところ、50人を超える希望者が集まった。「山楽会」を発足し、例会日には、会員と九州の山に登る。

会の平均年齢は65歳以上。一人では挑戦できない人のためにも、登山装備の選び方や声掛けなどのサポートは欠かせない。危険個所がないか下見も必ず行う。いかにして安全に、楽しんで山に登ってもらえるか。歩きやすい道先導し、自生する植物の解説を入れながら、会員を山へ導く。「一人で登るのもいいけど、皆が楽しんでる姿を見るのが今の私の楽しみですね」

登山は山頂までの過程を楽しむのも醍醐味だ。「四季折々の花や草木、鳥のさえずりを聞き、自然を感じてリフレッシュする。きついけど、私にとっての最高の休息になっています」

今は新型コロナウイルス感染症の影響で、会員と登山できない状況が続いている。「また、皆と山に登ることができたら」。遠くを見つめながら、今日も山に思いをはせる。

「菊池人」 希望者を募集します

新しいことに挑戦している人、伝統を受け継いでいる人など、菊池で頑張っている人を募集します。本市在住であれば自薦・他薦は問いません。詳しくは市長公室までお問い合わせください。

問い合わせ先

市長公室広報交流係
☎ 0968 (25) 7252

菊池人
82

菊池山楽会リーダー

井藤 憲幸さん



1_山楽会メンバーの集合写真。現在の会員数は46人。井藤さんはいつも撮影する側だ 2_会員や登山仲間とともに作った記念誌 3_キリマンジャロの登山行動は5泊6日。睡魔に襲われながらも無事に登り切った